

普天間基地の閉鎖・撤去を求める署名

【趣旨】

普天間基地は、沖縄県宜野湾市の約4分の1を占めています（米軍基地全体だと沖縄県宜野湾市の約3分の1を占めています）。そして、基地の近くには病院や幼稚園等の公共施設、住宅街があります。米兵による犯罪や事故等も多数発生していて、夜間の飛行訓練をしてはいけないという約束も守られていません。建物スレスレの超低空飛行、騒音被害もあり、地元住民は不安を感じています。

最近では、沖縄国際大学にヘリコプターが墜落しましたが、日本側は調査に踏み込まず、アメリカが単独調査を行いました。

普天間基地は、世界一危険な基地です。

沖縄県民が声をあげたため、96年に普天間基地を返還するというので、日米が合意しました。ですが、その後、代替施設が必要になるとアメリカが主張。辺野古に基地を移設する計画が持ち上がります。しかし、地元住民の強い反発のため、計画は進みませんでした。

そして、去年、鳩山元総理は選挙のとき、「最低でも県外、できれば国外」と言い、沖縄県民に期待を抱かせました。しかし、2010年5月、結局、辺野古への移設に合意してしまいました。ですが、基地をたらいまわしにしてはいけません。沖縄の基地負担は減らすべきです。

日本全国にある米軍専用施設のうち、75%が沖縄に集中しています。沖縄県民の負担は大きいのです。さらに、日本を防衛しているはずの米軍基地ですが、普天間基地には海兵隊（戦争になったとき、前線へ最初に突っ込む超攻撃型の部隊）がおかれています。もしも、本当に戦争が起こってしまえば、最前線基地になるのは沖縄です。

沖縄は、過去の陸上戦で、数多くの被害を受けました。その地を、再び戦場やそれに近い状態にしては、絶対にいけません。

また、日本は戦争に加担することはないといっていますが、現に沖縄からイラクやアフガニスタンに向けて戦闘機が飛び立っています。これでは、日本が戦争に加担していると言われてもしかたありません。憲法とも矛盾している可能性があります。

普天間基地の閉鎖・撤去を求めます

沖縄県内への移設に反対します



